



くにたち野菜の全てがわかるポータルサイト

くにたちあぐりッホ

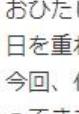
Kunitachi Agrippo



文字サイズ 小 中 大 Google カスタム 検索

HOME > 特集シリーズ「そうだ、谷保に行こう」 > 中平ほうれん草王国

サイトマップ



【特集】シリーズ「そうだ、谷保に行こう」

Vol.2 中平ほうれん草王国

おひたしに、胡麻和え、お雑煮の具に、くにたちのほうれん草はいかがでしょうか？ 日を重ねるごとに寒さが厳しくなり、甘みを増してきているほうれん草。今回、代々ほうれん草をつくる谷保の中平(なかだいら)3軒の農家さんにお話を伺ってきました。

※中平・・・旧谷保村の中央部に位置し、村の真ん中の平地で最も起伏のない地区。城山のあるあたり。

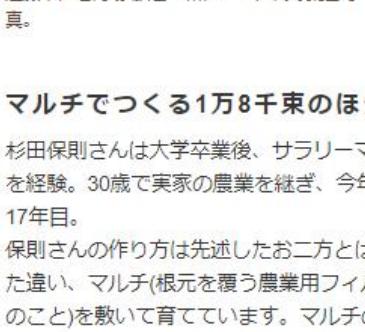


遠藤常臣さんのほうれん草の品種はサプライズ。葉色が濃く、葉が肉厚なのが特徴。

寒さで甘くなるほうれん草

「野菜自身が凍結しないように糖度を増すから、甘くなるんですよ」農家の7代目三田栄作さんは、ゆっくりした口調でそう教えてくれました。栄作さんのほうれん草は、他の農家も一目置くほどの出来映え！国立インター近くの多摩青果市場に出荷しています。今つくっている品種は、葉肉が柔らかく、葉色が濃いというハンター。土への栄養はイネ科のソルゴーという緑肥を夏前に植え、秋に農機を使って、土に鋤込み肥料にしてから、ほうれん草の種を撒く。そうすることで土が柔らかくなり、水はけがよくなつて育ちやすい土になるそうです。

※緑肥とは植物の葉や茎を田畑に鋤込みで腐食させ肥料とするもの。



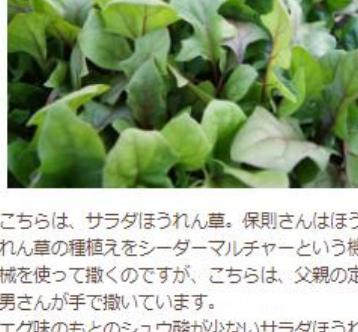
栄作さんは、市場出荷専業の農家。
残念ながらあまり直売所ではみかけることがで
きません。



霜除け・害虫予防にサンサンネット(平織り被
覆資材)やバオバオ(名前がかわいい！不織布
被覆資材)をかけるというごだわりも。

黄金のサイクル

遠藤常臣さんはサラリーマンを経験した後、40歳で農業を継ぎ今年で24年目。常臣さんの畠中屋農園では、毎年夏に生で食べてもまあいいトウモロコシピクニックコースのもう取り販売をしています。夏のもう取りが終わると、そのトウモロコシの葉や茎を、土に鋤込み、冬に向けてほうれん草を植えるという黄金のサイクルがあります。イネ科のトウモロコシとアカザ科のほうれん草を畠で交互に植えることで微生物が繁殖し土が柔らかくなり、連作障害も押さえられて、一石二鳥のサイクルだそうです。トウモロコシを植えていない他の畠では、木材チップがそのトウモロコシの代わりになり、さらに化成肥料を施し土作り。毎年9月20日前後から順々に種を撒きます。



生産量がピークの1~3月は1日600束の量(!!)を
出荷する日もあるとか。

マルチでつくる1万8千束のほうれん草！！

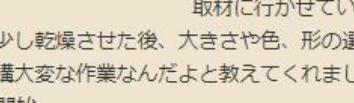
杉田保則さんは大学卒業後、サラリーマンを経験。30歳で実家の農業を継ぎ、今年で17年目。

保則さんの作り方は先述したお二方とはまた違う、マルチ(根元を覆う農業用フィルムのこと)を敷いて育てています。マルチの長所は、①乾温の差がない／②雨が根元に一気に入り込まない／③水分保持できる(ほうれん草は冬野菜なので乾燥しがち。マルチをすることによって水分を保持できる)と教えてくれました。

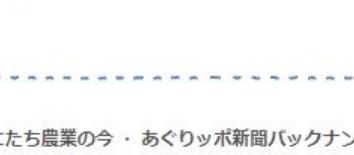
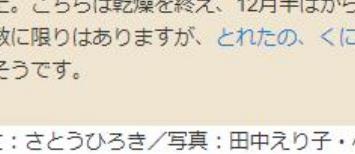
そして、もう1つの違いは土作り。牛堆肥と苦土石灰と、とある肥料(企業秘密!)を入れて、土作りに励んでいるとのこと。ほうれん草が終わると、ブロッコリーを植え、半年ごと交互に生産しています。



保則さんのほうれん草の品種は、サプライズと
プラトンの2種類。10/11に撒いたものが今まさ
に出荷されている。



保則さんの畠。マルチが敷かれています。
これは、3月に収穫される予定のほうれん草
で、品種はプラトン。越冬栽培に適したほう
れん草。



こちらは、サラダほうれん草。保則さんはほう
れん草の種植えをシーダーマルチヤーという機
械を使って撒くのですが、こちらは、父親の定
男さんが手で撒いています。

エグ味のものとのシウ酸が少ないサラダほう
れん草は、生食でも食べられます。色も鮮やかな
ので、サラダの彩りに添えてみては？



【おまけ】

三田栄作さんはお
正月に食べる黒豆
もつくっています。
写真は乾燥さ
せているところ。

取扱いを行かせて
いただいた日、ちょうどその最中でした。もう少し乾燥させた後、大きさや色、形の選
別を1人もしくは2人でやる。それが結構大変な作業なんだよと教えてくれました。

こちらは乾燥を終え、12月半ばから出荷開始。

数に限りはありますが、とれたの、くにたち野菜しゅんかしゅんかで取り扱いがある
そうです。

(文:さとうひろき/写真:田中えり子・小林未央)

くにたち農業の今・あぐりッホ新聞バックナンバー

国立市活き活き都市農業推進事業及びこのサイトについて